



ジェンダー(性別・性差)について考える～多様性が大切にされる世界に～ 園長 笛木 哲  
映画の中で観た場面です。小さな女の子がお母さんに問います。娘「私は女？」母「そう」娘「では男って？」母「男はね、〇〇(娘の名前)がいつか結婚したいと思う人が男」娘「じゃあママは男なの？ だって私は大きくなったらママと結婚するんだもの」 そんな会話でした。無邪気な小さな女の子の言葉が今も耳に残っています。

昔は(今も…)、性別の違いを強調し、「男の子は男らしく、女の子は女の子らしく」と当然のように言われました。そこからはみ出す子はまゆをひそめられたものです。さらに社会を支配する者の意図から男性優位の社会が形成され、男女の性差による差別が明白になり、その解消に向けての運動が世界中で大きなうねりとなっています。

GUCCI(ファッションブランド)が、『男性女性だからこうあるべきだ』という固定観念にとらわれず、いいと思うものは男女どちらのデザインにも取り入れる」と自由なデザインを発表し、ジェンダーレスファッションが世界的に注目されました。その頃から、小学生のランドセルは、子ども自身が色を選び、多種多様な色のランドセルが商品化されるようになりました。今年10月、米国では出生証明書、パスポートのSEX(性別)欄に、「男性」「女性」の他に「X」(X-gender:男女いずれかに限定しない性別の立場を取る人の略)の欄が新設されました。世界では、性別に対する新たな動きが進んでいます。

私たちの性別は、生まれた時の性器の外観で決定しますが、脳は体ほど明確に男女差をもっていない状態でスタートすることが科学的に分かってきました(生まれたての脳の中では男も女もない)。男女の性差が明確になるのは、大人の固定観念で作られる環境により、子どもたちの脳の中で性差が色分けされることが大きく影響するそうです。例えば、私は息子や娘に、当たり前のように男は水色、女はピンクと色分けしてものを与えていました。職場の家族と旅行に行った際には、女の子に混じって人形遊びをしていた息子を、「男の子はこっちでしょう」とためらうことなく(ジェンダーに分けたがる固定観念により)、車遊びに夢中の男の子グループに連れて行きました。こうして、生まれた時は男も女もない息子と娘の頭の中に、男女差を植え付けていたのです。もしかすると、男女の性差だけでなく、子どもの持つ可能性や個性までも、私の固定観念が摘んでしまったかもしれないと思うと恐ろしくなります。

人間の基礎を作る幼児期の子育てにおいては、子どもの主張や思いに寄り添いながら環境を整えることがいかに大切か分かります。男女の性差の色分けがまだまだ明確でない幼児を預かる幼稚園の責任として、本園では年が明けた3学期、ジェンダーについて研修会をもちます。



『生活発表会』では、たくさんの温かな拍手をありがとうございました。次は『作品展』です。

## 新しい職員の紹介

ちゅうりっぷ組の補助をさせていただくことになりました筋野知加子です。笑顔あふれる明るく元気いっぱいのお子様の姿が見られるよう個性を大切に、寄り添った保育補助ができるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。好きな食べものはトウモロコシとチョコレートです。



## 子どものことば(年長さん)

- 氷川神社に七五三のお参りに行った時 「お祈りしても、神様はでなかった(姿を見せなかった)よ。なんだかサンタクロースみたいだね。」
- 世界地図を眺めていた時 「日本はやっぱり小さいんだ。」
- トイレ掃除後に入ってきた子が 「せっかくきれいにしてくれたのに、トイレに入るのはもったいないね。」 すると友だちは、「水で流せばいいんだよ」
- 園庭で折れたサツキの枝を悲しそうに見つめている子に保育者が「雨が降ってきたから教室へ帰ろうよ」というと 「雲も泣いているんだね」とぼつり。さらに、「雨が降ったら誰も(折れてしまった枝を)見に来られないよ(ひとりぼっちで寂しくなるよ)。」と涙を浮かべる。

## 園児が輝く時

※HPで「笑顔の子どもたち」を紹介しています。よろしかったらご覧ください。



マラカズづくり(ひよこ) 新しいお友だちとも仲良く楽しく過ごせます。「みんなで踊ろう！イェッ！」



秋と遊ぼう(満3歳) 赤く色づいたハナミズキの葉をたくさん集めて、「葉っぱと友だちになったよ！」



水やり(年少) 優しい小さな手で植えたチューリップの球根。「春にきれいな花を咲かせてね。」



スポーツの秋(年中) 「天気のよい日に外で走るのは気持ちがいい！ なんだかお腹が減っちゃった！」



七五三のお参り(年長) 「こんなに大きくなりました。ありがとうございます。これからも見守ってください。」

## お知らせ

例年、年始に行われている消防署主催による『出初め式』(昨年度は中止)は、新型コロナウイルス感染防止のために規模を縮小して行うとの連絡がありました。つきましては、本年度、年長園児の参加(鼓笛の披露)はありません。



これまで、新型コロナウイルス感染防止対策により、発熱、風邪症状の場合は、『出席停止』扱いとしてきましたが、12月より『欠席』扱いとします。なお、先日お知らせしたように、兄弟姉妹・家族が発熱・風邪症状の場合でも、本人が元気であれば登園していただいて結構です。ただし鼻水、咳がひどいようでしたら、登園することはお控えください。